

令和2年度 指定管理者の管理運営状況 評価表

1 施設の概要		所管課	高齢福祉課
施設の名称	千曲市戸倉地域福祉センター	所在地	千曲市大字磯部1110-1(平成3年建)
指定管理者	社会福祉法人千曲市社会福祉協議会	住所	千曲市大字戸倉2388番地
	代表者 島谷正行	指定期間	平成28年度～令和2年度 (5年間) 初協定 平成18年度 通算15年
主な業務内容	① 地域の福祉拠点施設として、利用者の安全確保と施設の良好な維持管理	④	
	② 介護保険関連事業(通所介護、短期入所等)	⑤	
	③ 障がい福祉サービス(訪問介護)	⑥	
職員体制	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	計 44 人	計 46 人	計 41 人

2 施設の利用実績等

利用状況	区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)
	デイサービスセンター	10,742	108%	12,433	116%	11,751	95%
	訪問入浴ステーション	1,628	112%	1,477	91%	951	64%
	短期入所事業	2,139	101%	2,052	96%	1,958	95%
	居宅介護支援事業所	1,312	99%	1,473	112%		0%
	その他	323	85%	234	72%	278	119%
	合計	16,144	106%	17,669	109%	14,938	85%

特記事項(増減理由) ※訪問入浴ステーションは人材確保が厳しく、受け入れが制限され縮小傾向にある
 ※戸上居宅介護支援事業所は、令和2年4月、千曲市社会福祉協議会居宅介護支援事業所(杭瀬下)に統合

管理経費収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)	デイサービス	92,281,460	106%	105,940,180	115%	103,367,167	98%
	入浴サービス	22,185,394	114%	19,820,493	89%	13,733,370	69%
	短期入所事業	23,403,110	102%	22,885,754	98%	23,008,799	101%
	その他収入	22,563,542	102%	26,771,379	119%	2,650,160	10%
	合計	160,433,506	106%	175,417,806	109%	142,759,496	81%
費用の部(b)	人件費	111,723,800	103%	115,617,018	103%	98,097,862	85%
	事業費	39,365,611	105%	37,084,103	94%	41,008,684	111%
	事務費	6,290,911	85%	6,717,716	107%	2,061,564	31%
	その他経費	5,155,567	87%	13,765,743	267%	4,436,523	32%
合計	162,535,889	102%	173,184,580	107%	145,604,633	84%	
損益(a)-(b)		-2,102,383		2,233,226		-2,845,137	

特記事項(増減理由) ※収支全体の減少の要因は、居宅介護支援事業所分の減によるもの
 ※事業費の増加は、コロナ対策物品の購入による
 ※社会福祉法人会計基準に基づき法人全体で決算を行っているため、施設単体の収支がそのまま損益となるわけではない

●自主事業の実施状況

内容	貸切風呂は、R2年度は、コロナ対策のため休止
----	------------------------

自主事業収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)							
	合計	0		0		0	
費用の部(b)							
	合計	0		0		0	
損益(a)-(b)		0		0		0	

	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
管理経費・自主事業収入合計	160,433,506	106%	175,417,806	109%	142,759,496	81%
管理経費・自主事業費用合計	162,535,889	102%	173,184,580	107%	145,604,633	84%
損益(a)-(b)	-2,102,383		2,233,226		-2,845,137	

3 評価

評価項目

実施体制			判定	評点
1	施設管理①	施設の設置目的が十分機能しているか。	b	2
2	施設管理②	協定書に定められた開館日や開館時間等を遵守しているか。	b	
3	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	b	
4	職員体制	施設の管理運営にあたる人員（人数、有資格者）を適正に配置しているか。	b	
5	人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組み（教育・研修）を実施しているか。	b	
6	利用者への対応	利用者に対する職員の接客マナー（言葉づかい、態度、服装等）は適切か。	b	
7	危機管理①	危機管理に関するマニュアルが整備され定期的に訓練等を行っているか。	b	
8	危機管理②	事故・災害等の緊急時の対応体制は確立されているか。	b	
9	個人情報の保護	個人情報に関する規定を設け、個人情報を保護するための対策がされているか。	b	
10	情報公開	情報公開に関する規定を設け、情報を適切に管理、公表しているか。	b	
11	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	b	
施設・設備の維持管理			判定	評点
12	維持管理	建物、設備の保守点検・管理等を適切に行っているか。	b	2
13	清潔の保持	利用者が快適に利用できるよう、清掃等適切に行っているか。	b	
14	再委託業務等の妥当性	再委託されている業務の範囲は適切であり、事前に市の承認を受けているか。	-	
15	備品の管理	施設の備品を適切に管理しているか。	b	
16	修繕	必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか。	b	
運営業務及びサービスの質の向上			判定	評点
17	自主事業の適切な実施	施設の設置目的に沿って、利用促進やサービス向上を図るための自主事業を、事業計画書に記載したとおり適切に実施しているか。	b	2
18	利用実績及び施設の稼働率	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。また、利用促進に向け積極的に取り組んでいるか。	b	
19	職員間での情報共有	職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	b	
20	広報・PRの実施	当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取組みを実施し、潜在的な利用者に応用しているか。	b	
21	利用者アンケート等の実施	利用者アンケート等を実施し、利用者の意見及び要望等を把握しているか。	b	
22	利用者アンケート等の施設運営への反映	利用者アンケート等で把握した意見及び要望等を、施設運営に反映させているか。	b	
23	利用者対応	施設の予約や利用等が公平かつ適切に実施されているか。	b	
24	環境への配慮	省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか。	b	
25	苦情等の対応	利用者の苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	b	
26	地域貢献	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	b	
収支状況			判定	評点
27	経理事務	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか。	b	2
28	予算執行	収支予算書に基づき、適正に予算を執行しているか。	b	
29	収入増加の取組み	収入増加への取り組みを行い、その効果があったか。	b	
30	経費節減の取組み	経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか。	b	

合計 8点

総合評価 B

◎判定基準

- a 協定等で定めた水準以上に独自の新たなサービスを提供した管理運営を行うことができた
- b 協定等で定めた水準の管理運営を行うことができた
- c 一部協定等で定めた管理運営を行うことができなかった
- d 不適切な管理運営が行われた

◎評点

- ・各項目の評価に a があり、その他は b である …3点
- ・各項目の評価がすべて b である …2点
- ・各項目の評価に c があり、d はない …1点

◎総合評価

- A（特に優れていると認めるもの） 合計 10点以上
- B（適正であると認めるもの） 合計 7～9点
- C（さらなる努力が必要） 合計 4～6点

令和2年度 指定管理者の管理運営状況 評価表

No. 6

1 施設の概要		所管課	高齢福祉課
施設の名称	戸倉老人コミュニティセンター		所在地 千曲市大字戸倉1987-4(昭和61年建)
指定管理者	社会福祉法人千曲市社会福祉協議会	住所	千曲市大字戸倉2388番地
	代表者 島谷正行	指定期間	平成28年度～令和2年度 (5年間) 初協定 平成18年度 通算15年
主な業務内容	① 利用の許可及び利用の制限に関する業務		④ その他センターの管理に関し必要と認める業務
	② 利用の停止等に関する業務		⑤
	③ 施設・付属備品及び物品の維持管理に関する業務		⑥
職員体制	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	計 3 人	計 3 人	計 3 人

2 施設の利用実績等

利用状況	区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)
	市民(高齢者)	1,003	99%	1,169	117%	790	68%
	合計	1,003	99%	1,169	117%	790	68%
特記事項(増減理由)							

管理経費収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)	指定管理料	137,000	105%	194,000	142%	153,000	79%
	利用料金	23,050	90%	31,700	138%	24,050	76%
	その他収入			100			0%
	合計	160,050	102%	225,800	141%	177,050	78%
費用の部(b)	消耗品費	29,985	104%	18,690	62%	84,136	450%
	燃料費	29,480	118%	25,432	86%	26,014	102%
	修繕費			88,034			0%
	業務委託料	60,000	100%	60,000	100%	60,000	100%
	その他経費	5,800	102%	8,700	150%	6,900	79%
合計	125,265	92%	200,856	160%	177,050	88%	
損益(a)-(b)	34,785		24,944		0		
特記事項(増減理由)	消耗品費の増加は、コロナ対策関連物品購入によるもの						

●自主事業の実施状況

内容	
----	--

自主事業収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)							
	合計	0		0		0	
費用の部(b)							
	合計	0		0		0	
損益(a)-(b)		0		0		0	

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
管理経費・自主事業収入合計	160,050	225,800	177,050
管理経費・自主事業費用合計	125,265	200,856	177,050
損益(a)-(b)	34,785	24,944	0

3 評価

評価項目

実施体制			判定	評点
1	施設管理①	施設の設置目的が十分機能しているか。	b	2
2	施設管理②	協定書に定められた開館日や開館時間等を遵守しているか。	b	
3	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	b	
4	職員体制	施設の管理運営にあたる人員（人数、有資格者）を適正に配置しているか。	b	
5	人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組み（教育・研修）を実施しているか。	b	
6	利用者への対応	利用者に対する職員の接客マナー（言葉づかい、態度、服装等）は適切か。	b	
7	危機管理①	危機管理に関するマニュアルが整備され定期的に訓練等を行っているか。	b	
8	危機管理②	事故・災害等の緊急時の対応体制は確立されているか。	b	
9	個人情報の保護	個人情報に関する規定を設け、個人情報を保護するための対策がされているか。	b	
10	情報公開	情報公開に関する規定を設け、情報を適切に管理、公表しているか。	b	
11	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	b	
施設・設備の維持管理			判定	評点
12	維持管理	建物、設備の保守点検・管理等を適切に行っているか。	b	2
13	清潔の保持	利用者が快適に利用できるよう、清掃等適切に行っているか。	b	
14	再委託業務等の妥当性	再委託されている業務の範囲は適切であり、事前に市の承認を受けているか。	-	
15	備品の管理	施設の備品を適切に管理しているか。	b	
16	修繕	必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか。	b	
運営業務及びサービスの質の向上			判定	評点
17	自主事業の適切な実施	施設の設置目的に沿って、利用促進やサービス向上を図るための自主事業を、事業計画書に記載したとおり適切に実施しているか。	-	2
18	利用実績及び施設の稼働率	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。また、利用促進に向け積極的に取り組んでいるか。	b	
19	職員間での情報共有	職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	b	
20	広報・PRの実施	当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取組みを実施し、潜在的な利用者に応用しているか。	b	
21	利用者アンケート等の実施	利用者アンケート等を実施し、利用者の意見及び要望等を把握しているか。	b	
22	利用者アンケート等の施設運営への反映	利用者アンケート等で把握した意見及び要望等を、施設運営に反映させているか。	b	
23	利用者対応	施設の予約や利用等が公平かつ適切に実施されているか。	b	
24	環境への配慮	省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか。	b	
25	苦情等の対応	利用者の苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	b	
26	地域貢献	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	b	
収支状況			判定	評点
27	経理事務	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか。	b	2
28	予算執行	収支予算書に基づき、適正に予算を執行しているか。	b	
29	収入増加の取組み	収入増加への取り組みを行い、その効果があったか。	b	
30	経費節減の取組み	経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか。	b	

合計 8点

総合評価 B

◎判定基準

- a 協定等で定めた水準以上に独自の新たなサービスを提供した管理運営を行うことができた
- b 協定等で定めた水準の管理運営を行うことができた
- c 一部協定等で定めた管理運営を行うことができなかった
- d 不適切な管理運営が行われた

◎評点

- ・各項目の評価に a があり、その他は b である …3点
- ・各項目の評価がすべて b である …2点
- ・各項目の評価に c があり、d はない …1点

◎総合評価

- A（特に優れていると認めるもの） 合計 10点以上
- B（適正であると認めるもの） 合計 7～9点
- C（さらなる努力が必要） 合計 4～6点

令和2年度 指定管理者の管理運営状況 評価表

1 施設の概要		所管課	高齢福祉課
施設の名称	更級老人コミュニティセンター	所在地	千曲市大字羽尾1812-1(平成6年建)
指定管理者	社会福祉法人千曲市社会福祉協議会	住所	千曲市大字戸倉2388番地
	代表者 島谷正行	指定期間	平成28年度～令和2年度 (5年間) 初協定 平成18年度 通算15年
主な業務内容	① 利用の許可及び利用の制限に関する業務		④ その他センターの管理に関し必要と認める業務
	② 利用の停止等に関する業務		⑤
	③ 施設・付属備品及び物品の維持管理に関する業務		⑥
職員体制	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	計 3 人	計 3 人	計 3 人

2 施設の利用実績等

利用状況	区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)
	市民(高齢者)	658	72%	326	50%	527	162%
	合計	658	72%	326	50%	527	162%

特記事項(増減理由)

管理経費収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)	指定管理料	156,000	100%	156,000	100%	194,000	124%
	利用料金	1,400	127%	1,800	129%	13,500	750%
	合計	157,400	100%	157,800	100%	207,500	131%
費用の部(b)	消耗品費	39,419	99%	55,671	141%	121,150	218%
	燃料費	13,940	70%	19,936	143%	17,550	88%
	修繕費	17,205	59%	12,486	73%	0	0%
	業務委託料	60,000	100%	60,000	100%	60,000	100%
	その他経費	5,700	100%	7,000	123%	8,800	126%
	合計	136,264	88%	155,093	114%	207,500	134%
	損益(a)-(b)	21,136		2,707		0	

特記事項(増減理由)

●自主事業の実施状況

内容	
----	--

自主事業収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)							
	合計	0		0		0	
費用の部(b)							
	合計	0		0		0	
	損益(a)-(b)	0		0		0	

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
管理経費・自主事業収入合計	157,400	157,800	207,500
管理経費・自主事業費用合計	136,264	155,093	207,500
損益(a)-(b)	21,136	2,707	0

3 評価

評価項目

実施体制			判定	評点
1	施設管理①	施設の設置目的が十分機能しているか。	b	2
2	施設管理②	協定書に定められた開館日や開館時間等を遵守しているか。	b	
3	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	b	
4	職員体制	施設の管理運営にあたる人員（人数、有資格者）を適正に配置しているか。	b	
5	人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組み（教育・研修）を実施しているか。	b	
6	利用者への対応	利用者に対する職員の接客マナー（言葉づかい、態度、服装等）は適切か。	b	
7	危機管理①	危機管理に関するマニュアルが整備され定期的に訓練等を行っているか。	b	
8	危機管理②	事故・災害等の緊急時の対応体制は確立されているか。	b	
9	個人情報の保護	個人情報に関する規定を設け、個人情報を保護するための対策がされているか。	b	
10	情報公開	情報公開に関する規定を設け、情報を適切に管理、公表しているか。	b	
11	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	b	
施設・設備の維持管理			判定	評点
12	維持管理	建物、設備の保守点検・管理等を適切に行っているか。	b	2
13	清潔の保持	利用者が快適に利用できるよう、清掃等適切に行っているか。	b	
14	再委託業務等の妥当性	再委託されている業務の範囲は適切であり、事前に市の承認を受けているか。	-	
15	備品の管理	施設の備品を適切に管理しているか。	b	
16	修繕	必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか。	b	
運営業務及びサービスの質の向上			判定	評点
17	自主事業の適切な実施	施設の設置目的に沿って、利用促進やサービス向上を図るための自主事業を、事業計画書に記載したとおり適切に実施しているか。	-	2
18	利用実績及び施設の稼働率	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。また、利用促進に向け積極的に取り組んでいるか。	b	
19	職員間での情報共有	職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	b	
20	広報・PRの実施	当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取組みを実施し、潜在的な利用者に応用しているか。	b	
21	利用者アンケート等の実施	利用者アンケート等を実施し、利用者の意見及び要望等を把握しているか。	b	
22	利用者アンケート等の施設運営への反映	利用者アンケート等で把握した意見及び要望等を、施設運営に反映させているか。	b	
23	利用者対応	施設の予約や利用等が公平かつ適切に実施されているか。	b	
24	環境への配慮	省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか。	b	
25	苦情等の対応	利用者の苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	b	
26	地域貢献	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	b	
収支状況			判定	評点
27	経理事務	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか。	b	2
28	予算執行	収支予算書に基づき、適正に予算を執行しているか。	b	
29	収入増加の取組み	収入増加への取り組みを行い、その効果があったか。	b	
30	経費節減の取組み	経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか。	b	

合計 8点

総合評価 B

◎判定基準

- a 協定等で定めた水準以上に独自の新たなサービスを提供した管理運営を行うことができた
- b 協定等で定めた水準の管理運営を行うことができた
- c 一部協定等で定めた管理運営を行うことができなかった
- d 不適切な管理運営が行われた

◎評点

- ・各項目の評価に a があり、その他は b である …3点
- ・各項目の評価がすべて b である …2点
- ・各項目の評価に c があり、d はない …1点

◎総合評価

- A（特に優れていると認めるもの） 合計 10点以上
- B（適正であると認めるもの） 合計 7～9点
- C（さらなる努力が必要） 合計 4～6点

令和2年度 指定管理者の管理運営状況 評価表

No. 8

1 施設の概要		所管課	高齢福祉課
施設の名称	五加老人コミュニティセンター	所在地	千曲市大字千本柳328(平成3年建)
指定管理者	社会福祉法人千曲市社会福祉協議会	住所	千曲市大字戸倉2388番地
	代表者 島谷正行	指定期間	平成28年度～令和2年度 (5年間) 初協定 平成18年度 通算15年
主な業務内容	① 利用の許可及び利用の制限に関する業務		④ その他センターの管理に関し必要と認める業務
	② 利用の停止等に関する業務		⑤
	③ 施設・付属備品及び物品の維持管理に関する業務		⑥
職員体制	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	計 3 人	計 3 人	計 3 人

2 施設の利用実績等

利用状況	区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)
	市民(高齢者)	451	107%	539	120%	60	11%
	合計	451	107%	539	120%	60	11%

特記事項(増減理由)

管理経費収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)	指定管理料	207,000	97%	150,000	72%	153,000	102%
	利用料金	10,800	113%	15,700	145%	3,250	21%
	合計	217,800	98%	165,700	76%	156,250	94%
費用の部(b)	消耗品費	15,782	53%	59,133	375%	48,761	82%
	燃料費	13,436	68%	16,517	123%	22,989	139%
	修繕費	44,720	48%			17,600	
	業務委託料	60,000	100%	60,000	100%	60,000	100%
	その他経費	8,000	99%	6,700	84%	6,900	103%
	合計	141,938	68%	142,350	100%	156,250	110%
	損益(a)-(b)	75,862		23,350		0	

特記事項(増減理由)

●自主事業の実施状況

内容	
----	--

自主事業収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)							
	合計	0		0		0	
費用の部(b)							
	合計	0		0		0	
	損益(a)-(b)	0		0		0	

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
管理経費・自主事業収入合計	217,800	165,700	156,250
管理経費・自主事業費用合計	141,938	142,350	156,250
損益(a)-(b)	75,862	23,350	0

3 評価

評価項目

実施体制			判定	評点
1	施設管理①	施設の設置目的が十分機能しているか。	b	2
2	施設管理②	協定書に定められた開館日や開館時間等を遵守しているか。	b	
3	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	b	
4	職員体制	施設の管理運営にあたる人員（人数、有資格者）を適正に配置しているか。	b	
5	人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組み（教育・研修）を実施しているか。	b	
6	利用者への対応	利用者に対する職員の接客マナー（言葉づかい、態度、服装等）は適切か。	b	
7	危機管理①	危機管理に関するマニュアルが整備され定期的に訓練等を行っているか。	b	
8	危機管理②	事故・災害等の緊急時の対応体制は確立されているか。	b	
9	個人情報の保護	個人情報に関する規定を設け、個人情報を保護するための対策がされているか。	b	
10	情報公開	情報公開に関する規定を設け、情報を適切に管理、公表しているか。	b	
11	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	b	
施設・設備の維持管理			判定	評点
12	維持管理	建物、設備の保守点検・管理等を適切に行っているか。	b	2
13	清潔の保持	利用者が快適に利用できるよう、清掃等適切に行っているか。	b	
14	再委託業務等の妥当性	再委託されている業務の範囲は適切であり、事前に市の承認を受けているか。	-	
15	備品の管理	施設の備品を適切に管理しているか。	b	
16	修繕	必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか。	b	
運営業務及びサービスの質の向上			判定	評点
17	自主事業の適切な実施	施設の設置目的に沿って、利用促進やサービス向上を図るための自主事業を、事業計画書に記載したとおり適切に実施しているか。	-	2
18	利用実績及び施設の稼働率	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。また、利用促進に向け積極的に取り組んでいるか。	b	
19	職員間での情報共有	職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	b	
20	広報・PRの実施	当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取組みを実施し、潜在的な利用者に応用しているか。	b	
21	利用者アンケート等の実施	利用者アンケート等を実施し、利用者の意見及び要望等を把握しているか。	b	
22	利用者アンケート等の施設運営への反映	利用者アンケート等で把握した意見及び要望等を、施設運営に反映させているか。	b	
23	利用者対応	施設の予約や利用等が公平かつ適切に実施されているか。	b	
24	環境への配慮	省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか。	b	
25	苦情等の対応	利用者の苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	b	
26	地域貢献	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	b	
収支状況			判定	評点
27	経理事務	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか。	b	2
28	予算執行	収支予算書に基づき、適正に予算を執行しているか。	b	
29	収入増加の取組み	収入増加への取り組みを行い、その効果があったか。	b	
30	経費節減の取組み	経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか。	b	

合計 8点

総合評価 B

◎判定基準

- a 協定等で定めた水準以上に独自の新たなサービスを提供した管理運営を行うことができた
- b 協定等で定めた水準の管理運営を行うことができた
- c 一部協定等で定めた管理運営を行うことができなかった
- d 不適切な管理運営が行われた

◎評点

- ・各項目の評価に a があり、その他は b である …3点
- ・各項目の評価がすべて b である …2点
- ・各項目の評価に c があり、d はない …1点

◎総合評価

- A（特に優れていると認めるもの） 合計 10点以上
- B（適正であると認めるもの） 合計 7～9点
- C（さらなる努力が必要） 合計 4～6点

令和2年度 指定管理者の管理運営状況 評価表

1 施設の概要		所管課	高齢福祉課
施設の名称	千曲市更埴デイサービスセンター	所在地	千曲市大字杭瀬下820-1(平成4年建)
指定管理者	社会福祉法人千曲市社会福祉協議会	住所	千曲市大字戸倉2388番地
	代表者 島谷正行	指定期間	平成28年度～令和2年度(5年間) 初協定 平成18年度 通算15年
主な業務内容	① 利用の許可及び利用の制限に関する業務		④ 施設・付属備品及び物品の維持管理に関する業務
	② 利用の停止等に関する業務		⑤ 介護保険関連事業(通所介護)
	③ 利用料の収受に関する業務		⑥ その他センターの管理に関し必要と認める業務
職員体制	平成30年度 計 18 人	令和元年度 計15人(令和元年東日本台風による被災後は1人)	令和2年度 計 15 人

2 施設の利用実績等

利用状況	区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)
	要介護(要支援)高齢者	6,899	101%	4,140	60%	74	2%
	合計	6,899	101%	4,140	60%	74	2%

特記事項(増減理由) 災害復旧により、令和3年3月29日再開(令和2年度は3日間営業)

管理経費収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)	介護報酬収入	49,900,403	101%	29,454,732	59%	490,464	2%
	利用者負担金	11,357,247	103%	6,747,203	59%	119,777	2%
	その他収入	25,000	156%	1,931,110	7724%	1,092,000	57%
	繰入金収入					2,300,000	
	合計	61,282,650	101%	38,133,045	62%	4,002,241	10%
費用の部(b)	人件費	44,050,054	107%	23,768,112	54%		0%
	事業費	17,572,910	99%	11,280,524	64%	2,041,222	18%
	事務費	949,379	115%	869,391	92%	200,305	23%
	その他経費	1,238,826	90%	2,614,585	211%	2,291,300	88%
	合計	63,811,169	104%	38,532,612	60%	4,532,827	12%
損益(a)-(b)		-2,528,519		-399,567		-530,586	

特記事項(増減理由) ※天井走行式リフト設置のため、法人の積立金を取崩して繰入
※社会福祉法人の会計基準に基づき法人全体で決算を行っているため、施設単体の収支がそのまま損益となるわけではない

●自主事業の実施状況

内容	
----	--

自主事業収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)							
	合計	0		0		0	
費用の部(b)							
	合計	0		0		0	
損益(a)-(b)		0		0		0	

	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
管理経費・自主事業収入合計	61,282,650	101%	38,133,045	62%	4,002,241	10%
管理経費・自主事業費用合計	63,811,169	104%	38,532,612	60%	4,532,827	12%
損益(a)-(b)	-2,528,519		-399,567		-530,586	

3 評価

評価項目

実施体制			判定	評点
1	施設管理①	施設の設置目的が十分機能しているか。	b	2
2	施設管理②	協定書に定められた開館日や開館時間等を遵守しているか。	b	
3	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	b	
4	職員体制	施設の管理運営にあたる人員（人数、有資格者）を適正に配置しているか。	b	
5	人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組み（教育・研修）を実施しているか。	b	
6	利用者への対応	利用者に対する職員の接客マナー（言葉づかい、態度、服装等）は適切か。	b	
7	危機管理①	危機管理に関するマニュアルが整備され定期的に訓練等を行っているか。	b	
8	危機管理②	事故・災害等の緊急時の対応体制は確立されているか。	b	
9	個人情報の保護	個人情報に関する規定を設け、個人情報を保護するための対策がされているか。	b	
10	情報公開	情報公開に関する規定を設け、情報を適切に管理、公表しているか。	b	
11	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	b	
施設・設備の維持管理			判定	評点
12	維持管理	建物、設備の保守点検・管理等を適切に行っているか。	b	2
13	清潔の保持	利用者が快適に利用できるよう、清掃等適切に行っているか。	b	
14	再委託業務等の妥当性	再委託されている業務の範囲は適切であり、事前に市の承認を受けているか。	-	
15	備品の管理	施設の備品を適切に管理しているか。	b	
16	修繕	必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか。	b	
運営業務及びサービスの質の向上			判定	評点
17	自主事業の適切な実施	施設の設置目的に沿って、利用促進やサービス向上を図るための自主事業を、事業計画書に記載したとおり適切に実施しているか。	-	2
18	利用実績及び施設の稼働率	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。また、利用促進に向け積極的に取り組んでいるか。	b	
19	職員間での情報共有	職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	b	
20	広報・PRの実施	当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取組みを実施し、潜在的な利用者に応用しているか。	b	
21	利用者アンケート等の実施	利用者アンケート等を実施し、利用者の意見及び要望等を把握しているか。	b	
22	利用者アンケート等の施設運営への反映	利用者アンケート等で把握した意見及び要望等を、施設運営に反映させているか。	b	
23	利用者対応	施設の予約や利用等が公平かつ適切に実施されているか。	b	
24	環境への配慮	省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか。	b	
25	苦情等の対応	利用者の苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	b	
26	地域貢献	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	b	
収支状況			判定	評点
27	経理事務	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか。	b	2
28	予算執行	収支予算書に基づき、適正に予算を執行しているか。	b	
29	収入増加の取組み	収入増加への取り組みを行い、その効果があったか。	b	
30	経費節減の取組み	経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか。	b	

合計 8点

総合評価 B

◎判定基準

- a 協定等で定めた水準以上に独自の新たなサービスを提供した管理運営を行うことができた
- b 協定等で定めた水準の管理運営を行うことができた
- c 一部協定等で定めた管理運営を行うことができなかった
- d 不適切な管理運営が行われた

◎評点

- ・各項目の評価に a があり、その他は b である …3点
- ・各項目の評価がすべて b である …2点
- ・各項目の評価に c があり、d はない …1点

◎総合評価

- A（特に優れていると認めるもの） 合計 10点以上
- B（適正であると認めるもの） 合計 7～9点
- C（さらなる努力が必要） 合計 4～6点

令和2年度 指定管理者の管理運営状況 評価表

1 施設の概要		所管課	高齢福祉課
施設の名称	千曲市稲荷山デイサービスセンター	所在地	千曲市大字稲荷山2130(平成7年建)
指定管理者	社会福祉法人千曲市社会福祉協議会	住所	千曲市大字戸倉2388番地
	代表者 島谷正行	指定期間	平成28年度～令和2年度 (5年間) 初協定 平成18年度 通算15年
主な業務内容	① 利用の許可及び利用の制限に関する業務		④ 施設・付属備品及び物品の維持管理に関する業務
	② 利用の停止等に関する業務		⑤ 介護保険関連事業(通所介護)
	③ 利用料の収受に関する業務		⑥ その他センターの管理に関し必要と認める業務
職員体制	平成30年度 計 12 人	令和元年度 計 18 人	令和2年度 計 15 人

2 施設の利用実績等

利用状況	区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)
	要介護(要支援)高齢者	4,811	90%	5,953	124%	7,061	119%
	合計	4,811	90%	5,953	124%	7,061	119%

特記事項(増減理由) 被災した更埴デイサービスセンター利用者を一時的に受け入れたため、令和2年度は増加

管理経費収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)	介護報酬収入	33,864,635	89%	42,772,216	126%	52,731,865	123%
	利用者負担金	7,937,650	92%	9,885,789	125%	12,265,779	124%
	その他			19,940		5,720	29%
	補助金収入					1,097,842	
	合計	41,802,285	87%	52,677,945	126%	66,101,206	125%
費用の部(b)	人件費	33,443,306	97%	32,067,700	96%	40,733,640	127%
	事業費	12,853,278	85%	14,197,545	110%	17,899,302	126%
	事務費	682,848	106%	508,167	74%	768,597	151%
	その他経費	1,089,249	47%	3,402,005	312%	5,913,903	174%
	合計	48,068,681	91%	50,175,417	104%	65,315,442	130%
損益(a)-(b)		-6,266,396		2,502,528		785,764	

特記事項(増減理由) ※事業費の増加は、コロナ対策物品の購入による
※社会福祉法人の会計基準に基づき法人全体で決算を行っているため、施設単体の収支がそのまま損益となるわけではない

●自主事業の実施状況

内容	
----	--

自主事業収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)							
	合計	0		0		0	
費用の部(b)							
	合計	0		0		0	
損益(a)-(b)		0		0		0	

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
管理経費・自主事業収入合計	41,802,285 87%	52,677,945 126%	66,101,206 125%
管理経費・自主事業費用合計	48,068,681 91%	50,175,417 104%	65,315,442 130%
損益(a)-(b)	-6,266,396	2,502,528	785,764

3 評価

評価項目

実施体制			判定	評点
1	施設管理①	施設の設置目的が十分機能しているか。	b	2
2	施設管理②	協定書に定められた開館日や開館時間等を遵守しているか。	b	
3	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	b	
4	職員体制	施設の管理運営にあたる人員（人数、有資格者）を適正に配置しているか。	b	
5	人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組み（教育・研修）を実施しているか。	b	
6	利用者への対応	利用者に対する職員の接客マナー（言葉づかい、態度、服装等）は適切か。	b	
7	危機管理①	危機管理に関するマニュアルが整備され定期的に訓練等を行っているか。	b	
8	危機管理②	事故・災害等の緊急時の対応体制は確立されているか。	b	
9	個人情報の保護	個人情報に関する規定を設け、個人情報を保護するための対策がされているか。	b	
10	情報公開	情報公開に関する規定を設け、情報を適切に管理、公表しているか。	b	
11	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	b	
施設・設備の維持管理			判定	評点
12	維持管理	建物、設備の保守点検・管理等を適切に行っているか。	b	2
13	清潔の保持	利用者が快適に利用できるよう、清掃等適切に行っているか。	b	
14	再委託業務等の妥当性	再委託されている業務の範囲は適切であり、事前に市の承認を受けているか。	-	
15	備品の管理	施設の備品を適切に管理しているか。	b	
16	修繕	必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか。	b	
運営業務及びサービスの質の向上			判定	評点
17	自主事業の適切な実施	施設の設置目的に沿って、利用促進やサービス向上を図るための自主事業を、事業計画書に記載したとおり適切に実施しているか。	-	2
18	利用実績及び施設の稼働率	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。また、利用促進に向け積極的に取り組んでいるか。	b	
19	職員間での情報共有	職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	b	
20	広報・PRの実施	当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取組みを実施し、潜在的な利用者に応用しているか。	b	
21	利用者アンケート等の実施	利用者アンケート等を実施し、利用者の意見及び要望等を把握しているか。	b	
22	利用者アンケート等の施設運営への反映	利用者アンケート等で把握した意見及び要望等を、施設運営に反映させているか。	b	
23	利用者対応	施設の予約や利用等が公平かつ適切に実施されているか。	b	
24	環境への配慮	省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか。	b	
25	苦情等の対応	利用者の苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	b	
26	地域貢献	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	b	
収支状況			判定	評点
27	経理事務	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか。	b	1
28	予算執行	収支予算書に基づき、適正に予算を執行しているか。	b	
29	収入増加の取組み	収入増加への取り組みを行い、その効果があったか。	c	
30	経費節減の取組み	経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか。	c	

合計 7点

総合評価 B

◎判定基準

- a 協定等で定めた水準以上に独自の新たなサービスを提供した管理運営を行うことができた
- b 協定等で定めた水準の管理運営を行うことができた
- c 一部協定等で定めた管理運営を行うことができなかった
- d 不適切な管理運営が行われた

◎評点

- ・各項目の評価に a があり、その他は b である …3点
- ・各項目の評価がすべて b である …2点
- ・各項目の評価に c があり、d はない …1点

◎総合評価

- A（特に優れていると認めるもの） 合計 10点以上
- B（適正であると認めるもの） 合計 7～9点
- C（さらなる努力が必要） 合計 4～6点

令和2年度 指定管理者の管理運営状況 評価表

No. 11

1 施設の概要		所管課	高齢福祉課
施設の名称	千曲市屋代デイサービスセンター	所在地	千曲市大字屋代128-7(平成15年建)
指定管理者	社会福祉法人大志会	住所	千曲市大字森1024-3
	代表者 竹内伊吉	指定期間	平成28年度～令和2年度 (5年間) 初協定 平成18年度 通算15年
主な業務内容	① 利用の許可及び利用の制限に関する業務		④ 施設・付属備品及び物品の維持管理に関する業務
	② 利用の停止等に関する業務		⑤ 介護保険関連事業(通所介護)
	③ 利用料の収受に関する業務		⑥ その他センターの管理に関し必要と認める業務
職員体制	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	計 5 人	計 5 人	計 5 人

2 施設の利用実績等

利用状況	区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)
	要介護(要支援)高齢者	1,232	108%	1,027	83%	857	83%
	合計	1,232	108%	1,027	83%	857	83%

特記事項(増減理由) 認知症高齢者専用のデイサービスセンター(宅老所)である。利用者の特性から、体調・精神とも不安定な面があるため、長期休暇等もやむを得ない状況があり、安定した利用者確保には難しい面もある。

管理経費収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)	介護保険事業収入	16,924,561	122%	13,367,418	79%	12,416,957	93%
	受取利息配当金収入	29	138%	45	155%	64	142%
	その他収入	469,896				280,560	
	合計	17,394,486	125%	13,367,463	77%	12,697,581	95%
費用の部(b)	人件費	9,421,841	86%	9,468,786	100%	8,464,611	89%
	事業費	1,597,199	103%	1,427,139	89%	2,315,158	162%
	事務費	1,589,145	131%	1,259,443	79%	1,466,936	116%
	その他経費	2,111,216	1233%	111,888	5%	57,288	51%
	合計	14,719,401	106%	12,267,256	83%	12,303,993	100%
	損益(a)-(b)	2,675,085		1,100,207		393,588	

特記事項(増減理由) ※人件費の減少は、常勤5名のうち3名をパート雇用に変更したため
 ※事業費の増加は、コロナ対策物品の購入による
 ※社会福祉法人の会計基準に基づき法人全体で決算を行っているため、施設単体の収支がそのまま損益となるわけではない

●自主事業の実施状況

内容	
----	--

自主事業収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)							
	合計	0		0		0	
費用の部(b)							
	合計	0		0		0	
	損益(a)-(b)	0		0		0	

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
管理経費・自主事業収入合計	17,394,486	13,367,463	12,697,581
管理経費・自主事業費用合計	14,719,401	12,267,256	12,303,993
損益(a)-(b)	2,675,085	1,100,207	393,588

3 評価

評価項目

実施体制			判定	評点
1	施設管理①	施設の設置目的が十分機能しているか。	b	2
2	施設管理②	協定書に定められた開館日や開館時間等を遵守しているか。	b	
3	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	b	
4	職員体制	施設の管理運営にあたる人員（人数、有資格者）を適正に配置しているか。	b	
5	人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組み（教育・研修）を実施しているか。	b	
6	利用者への対応	利用者に対する職員の接客マナー（言葉づかい、態度、服装等）は適切か。	b	
7	危機管理①	危機管理に関するマニュアルが整備され定期的に訓練等を行っているか。	b	
8	危機管理②	事故・災害等の緊急時の対応体制は確立されているか。	b	
9	個人情報の保護	個人情報に関する規定を設け、個人情報を保護するための対策がされているか。	b	
10	情報公開	情報公開に関する規定を設け、情報を適切に管理、公表しているか。	b	
11	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	b	
施設・設備の維持管理			判定	評点
12	維持管理	建物、設備の保守点検・管理等を適切に行っているか。	b	2
13	清潔の保持	利用者が快適に利用できるよう、清掃等適切に行っているか。	b	
14	再委託業務等の妥当性	再委託されている業務の範囲は適切であり、事前に市の承認を受けているか。	-	
15	備品の管理	施設の備品を適切に管理しているか。	b	
16	修繕	必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか。	b	
運営業務及びサービスの質の向上			判定	評点
17	自主事業の適切な実施	施設の設置目的に沿って、利用促進やサービス向上を図るための自主事業を、事業計画書に記載したとおり適切に実施しているか。	-	2
18	利用実績及び施設の稼働率	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。また、利用促進に向け積極的に取り組んでいるか。	b	
19	職員間での情報共有	職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	b	
20	広報・PRの実施	当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取組みを実施し、潜在的な利用者に応用しているか。	b	
21	利用者アンケート等の実施	利用者アンケート等を実施し、利用者の意見及び要望等を把握しているか。	b	
22	利用者アンケート等の施設運営への反映	利用者アンケート等で把握した意見及び要望等を、施設運営に反映させているか。	b	
23	利用者対応	施設の予約や利用等が公平かつ適切に実施されているか。	b	
24	環境への配慮	省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか。	b	
25	苦情等の対応	利用者の苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	b	
26	地域貢献	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	b	
収支状況			判定	評点
27	経理事務	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか。	b	2
28	予算執行	収支予算書に基づき、適正に予算を執行しているか。	b	
29	収入増加の取組み	収入増加への取り組みを行い、その効果があったか。	b	
30	経費節減の取組み	経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか。	b	

合計 8点

総合評価 B

◎判定基準

- a 協定等で定めた水準以上に独自の新たなサービスを提供した管理運営を行うことができた
- b 協定等で定めた水準の管理運営を行うことができた
- c 一部協定等で定めた管理運営を行うことができなかった
- d 不適切な管理運営が行われた

◎評点

- ・各項目の評価に a があり、その他は b である …3点
- ・各項目の評価がすべて b である …2点
- ・各項目の評価に c があり、d はない …1点

◎総合評価

- A（特に優れていると認めるもの） 合計 10点以上
- B（適正であると認めるもの） 合計 7～9点
- C（さらなる努力が必要） 合計 4～6点

令和2年度 指定管理者の管理運営状況 評価表

1 施設の概要		所管課	高齢福祉課
施設の名称	千曲市上山田デイサービスセンター	所在地	千曲市大字上山田2454(平成11年建)
指定管理者	社会福祉法人千聖会	住所	千曲市大字上山田2454
	代表者 寺澤省全	指定期間	平成28年度～令和2年度 (5年間) 初協定 平成18年度 通算15年
主な業務内容	① 利用の許可及び利用の制限に関する業務		④ 施設・付属備品及び物品の維持管理に関する業務
	② 利用の停止等に関する業務		⑤ 介護保険関連事業(通所介護)
	③ 利用料の収受に関する業務		⑥ その他センターの管理に関し必要と認める業務
職員体制	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	計 10 人	計 10 人	計 10 人

2 施設の利用実績等

利用状況	区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)	人数	対前年度比(%)
	要介護(要支援)高齢者	3,826	94%	3,509	92%	783	22%
	合計	3,826	94%	3,509	92%	783	22%

特記事項(増減理由) 令和2年度の利用人数の減少は、デイサービス事業終了(R2.6.30)による指定管理期間取消(R2.7.1)のため。

管理経費収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)	介護保険事業収入	33,925,005	90%	25,795,254	76%	6,940,179	27%
	受取利息配当金収入	44	65%	84	191%	79	94%
	積立資産取崩収入	11,000,000	220%	6,000,000	55%		0%
	その他収入	6,000,000	123762%				
	合計	50,925,049	120%	31,795,338	62%	6,940,258	22%
費用の部(b)	人件費	34,312,923	100%	30,611,114	89%	8,615,756	28%
	事業費	4,896,396	86%	4,957,833	101%	1,073,907	22%
	事務費	2,700,580	39%	2,725,917	101%	1,601,344	59%
	その他経費	526,148	122%	290,279	55%	10,830,412	3731%
	合計	42,436,047	90%	38,585,143	91%	22,121,419	57%
損益(a)-(b)		8,489,002		-6,789,805		-15,181,161	

特記事項(増減理由) ※社会福祉法人の会計基準に基づき法人全体で決算を行っているため、施設単体の収支がそのまま損益となるわけではない
※その他経費は、特養への繰入金

●自主事業の実施状況

内容	
----	--

自主事業収支	項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)	金額(円)	対前年度比(%)
収入の部(a)							
	合計	0		0		0	
費用の部(b)							
	合計	0		0		0	
損益(a)-(b)		0		0		0	

	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
管理経費・自主事業収入合計	50,925,049	120%	31,795,338	62%	6,940,258	22%
管理経費・自主事業費用合計	42,436,047	90%	38,585,143	91%	22,121,419	57%
損益(a)-(b)	8,489,002		-6,789,805		-15,181,161	

3 評価

評価項目

実施体制			判定	評点
1	施設管理①	施設の設置目的が十分機能しているか。	b	2
2	施設管理②	協定書に定められた開館日や開館時間等を遵守しているか。	b	
3	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	b	
4	職員体制	施設の管理運営にあたる人員（人数、有資格者）を適正に配置しているか。	b	
5	人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組み（教育・研修）を実施しているか。	b	
6	利用者への対応	利用者に対する職員の接客マナー（言葉づかい、態度、服装等）は適切か。	b	
7	危機管理①	危機管理に関するマニュアルが整備され定期的に訓練等を行っているか。	b	
8	危機管理②	事故・災害等の緊急時の対応体制は確立されているか。	b	
9	個人情報の保護	個人情報に関する規定を設け、個人情報を保護するための対策がされているか。	b	
10	情報公開	情報公開に関する規定を設け、情報を適切に管理、公表しているか。	b	
11	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか。	b	
施設・設備の維持管理			判定	評点
12	維持管理	建物、設備の保守点検・管理等を適切に行っているか。	b	2
13	清潔の保持	利用者が快適に利用できるよう、清掃等適切に行っているか。	b	
14	再委託業務等の妥当性	再委託されている業務の範囲は適切であり、事前に市の承認を受けているか。	-	
15	備品の管理	施設の備品を適切に管理しているか。	b	
16	修繕	必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか。	b	
運営業務及びサービスの質の向上			判定	評点
17	自主事業の適切な実施	施設の設置目的に沿って、利用促進やサービス向上を図るための自主事業を、事業計画書に記載したとおり適切に実施しているか。	-	2
18	利用実績及び施設の稼働率	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。また、利用促進に向け積極的に取り組んでいるか。	b	
19	職員間での情報共有	職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	b	
20	広報・PRの実施	当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取組みを実施し、潜在的な利用者に応用しているか。	b	
21	利用者アンケート等の実施	利用者アンケート等を実施し、利用者の意見及び要望等を把握しているか。	b	
22	利用者アンケート等の施設運営への反映	利用者アンケート等で把握した意見及び要望等を、施設運営に反映させているか。	b	
23	利用者対応	施設の予約や利用等が公平かつ適切に実施されているか。	b	
24	環境への配慮	省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか。	b	
25	苦情等の対応	利用者の苦情等に対して迅速かつ適切に対応しているか。	b	
26	地域貢献	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	b	
収支状況			判定	評点
27	経理事務	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか。	b	1
28	予算執行	収支予算書に基づき、適正に予算を執行しているか。	b	
29	収入増加の取組み	収入増加への取り組みを行い、その効果があったか。	c	
30	経費節減の取組み	経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか。	c	

合計 7点

総合評価 B

◎判定基準

- a 協定等で定めた水準以上に独自の新たなサービスを提供した管理運営を行うことができた
- b 協定等で定めた水準の管理運営を行うことができた
- c 一部協定等で定めた管理運営を行うことができなかった
- d 不適切な管理運営が行われた

◎評点

- ・各項目の評価に a があり、その他は b である …3点
- ・各項目の評価がすべて b である …2点
- ・各項目の評価に c があり、d はない …1点

◎総合評価

- A（特に優れていると認めるもの） 合計 10点以上
- B（適正であると認めるもの） 合計 7～9点
- C（さらなる努力が必要） 合計 4～6点